

タイムカプセル「2100年への旅」 2F展示中(6月29日まで)

世紀の変わり目の2000年は、百年後の未来へメッセージを届けようと各地でタイムカプセルが作られました。校庭などにカプセルを埋めた学校も多いのではないのでしょうか。タイムカプセルを開ける日はまだまだ遠い先ですが、開封されたとき百年後の人たちはどんな感想を持つのでしょうか。百年後も今と変わらぬ平和な世が続くことを祈るばかりです。

博物館では、現在2Fの情報コーナー前にタイムカプセルを展示しています。これは東京新聞横浜支局と神奈川県博物館協会の協力で実現したタイムカプセルです。神奈川県博物館協会(通称“県博協”)には、県内の博物館・資料館・美術館・動物園・水族館・科学館など105の施設が加盟しており、加盟館園間でタイムカプセルを巡回展示しています。当館へは、4月に大磯町郷土資料館からやって来て、6月まで展示し、7月には茅ヶ崎市文化資料館へと旅立つ予定です。

百年後への旅をイメージしたジュラルミンケースは嚴重に施錠され、決して開けることはできません。ケースの中には手紙や写真、品物など未来への贈り物が400点納められています。元シアトルマリナーズの佐々木投手のサイン入りボールや、女優佐藤藍子さんのメッセージカードなど、その一部を写真パネルで紹介しています。 2008年6月29日まで展示

